

## ■平成 29 年度敦賀市中池見湿地保全活用協議会 第三回会議

### [議事録]

日 時：平成 30 年 2 月 15 日（木）14：00～16：30

場 所：敦賀市東郷公民館 会議室

出席者：会員 7 名、顧問 2 名

---

### 1 あいさつ

- 敦賀市中池見湿地保全活用協議会第 3 回会議の開催にあたり、（会長）より以下のあいさつがあった。
  - ・ 福井、敦賀で大雪があり、福井は雪国であることを改めて感じた。本日は、ご多用な中ご出席をいただきお礼申し上げます。
  - ・ 来年度以降、保全について詳しく議論したい旨、事務局からも提案があった。本日は、（顧問）から水環境についての報告を予定いただいております、楽しみだ。
  - ・ 今後、水だけでなく、生物についても少しずつ進めていきたいと考えている。よろしくお願ひ申し上げます。

### 2 議事

#### 【議事 1】第二回会議議事録の確認

- 事務局より議事録の一部修正について報告があった。
  - ※議事録ページ 3、11 行目の発言者を（会員）から、（会員）へ修正する。
- 前回会議について議事録を確認し、特に、質疑応答はなかった。

#### 【議事 2】実施計画の進捗状況

- 事務局より、今年度の実施計画の進捗状況について資料説明があった。

#### [質疑・応答]

- ・ （会長）ふるさと納税の 80 万円は多いのか少ないのか、目標額はあるのか。  
→（事務局）昨年度より増えている。議事 4 で再度、説明差し上げる。

#### 【議事 3】中池見湿地の水管理について（協議）

- （顧問）より、中池見湿地の水環境の調査結果について報告があった。

#### [概要]

- 笹鼻池の水たまりは、人工的に意図せずにできたものではあるが、これが湿地の 1 割という大きな面積を占めていることは大きなことだ。新幹線の影響よりも遥かに大きいのではないかと思う。昨年、水環境の調査をして良い状態ではないと思われる。笹鼻池の水は、硬度がとても高い（硬度 91）。
- 笹鼻池は、徐々に広がっているように見える。冬に水位が上がり、夏に下がる傾向が

あるようだ。

- ・水位に関して、現時点では相対的なデータがないので、測量を実施してほしい。
- ・笹鼻池について以下の提案をする。
  - \*笹鼻池をこれ以上広げないようにする。
  - \*そのために、笹鼻江について江掘りをしてはどうか。
  - \*江掘りにより、地下水位の変動を調べてはどうか。

[質疑・応答]

- ・（会員）中池見の保全をどの程度で維持するのが良いか不明である。生物多様性を高めるのであれば、江戸時代に戻すという考えもあると思う。逆に自然に戻すという考え方もあると思う。
  - （会員）委員会でも、いつに戻せばいいかという点は議論しつくせなかった。多様性について、ここに適用してよいかという問題もある。
- ・（会員）笹鼻池は、土砂を置いたからできたとのことだが、事実か。泥炭層を保つための水位はどうか。
  - （会員）水を抜くことが一番、影響が大きい。水があるからこそ貧酸素となり、泥炭が維持されてきた。
- ・（会員）江掘りでは、ヨシをとることが中心になっていると思う。ヨシを除去することは、本当はよくないことか。
  - （会員）ヨシをとることで景観はよくなる。ヨシを刈って明るくなることでの変化も考えられるため、どのように捉えて作業するかが大切である。水を止めるのか動かすのか、乾かし過ぎか湿り過ぎか、よく考えて作業すべきだ。
- ・（会員）硬度が高いとは、バイパスの影響ではなく、もともと高かったのか。硬度が高いことは、悪いことか。
  - （顧問）悪いことではない。湿地全体では、硬度の高い場所と低い場所があるはず。それが、どのように影響しているかは未だ不明である。
- ・（会員）水をかき混ぜることは良くないのか。
  - （顧問）ダム湖では、かき混ぜていることもあるが、中池見に合う手法かどうかは不明だ。
- ・（会員）生きもの調査と組み合わせて、地下水をモニタリングできないのか。
  - （会員）中江をやっている。笹鼻江は、とても作業しにくい。具体的にどうすると良いのか教えてほしい。
  - （顧問）地下水を調べる誰にでもできる調査方法を考えてみる。
  - （会員）事務局から専門家に相談いただいて、どうしたら良いかをまとめていただきたい。
- ・（会員）江掘りを笹鼻の方にして、水位を調べる方法も考えられる。人力ででき

るのであれば、やっても良いと思う。

→（顧問）なんのためにやるのかを確認しながら進めたい。

→（会員）どこでやるのが良いか教えてほしい。

→（顧問）希少なものが生えているところでやるとか、メッシュを切ってやるとか、試行すれば良いと思う。

#### 【議事 4】平成 29 年度活動報告・平成 30 年度活動計画

- 各団体の平成 29 年度活動状況及び平成 30 年度活動計画について、出席者より説明があった。
- （会員）今年度は、家族連れでの参加が多かった。木を伐る際の様式、段取りを踏んでから伐る話しを会の中で進めている。募金をしていただく際に中池見について知っていただけるよう小さなパンフレットを作成し、募金箱と一緒に設置することを考えたい。平成 30 年度は、ミニ田んぼサポーターに関して、ゆうちょ銀行からの支援があるため、区画を増やすことを検討したい。市の健康センターとのコラボするプログラムを計画中である。
- （会員）今年度の環境フェアでのトレイルウォークは、残念ながら荒天のため中止となった。市内外から 62 名ほどの申し込みがあり、トレイルウォークは中池見を知っていただくための良い機会と考えている。来年度も PR に力をいれていきたい。
- （顧問）平成 29 年度は、自然再生学会、自然再生士研修会で中池見湿地でお世話になった。平成 30 年度は、水草研究会等でお世話になることになる。よろしく願いたい。
- （顧問）6 月に江掘りに参加した。来年度も機会をとらえて中池見の活動を知らせるようにしたい。中池見を知っていただくための連携を取ればと考えている。
- （顧問）革製品の物品販売では、中池見に貢献できないと感じており、都会での販売時に PR をと考えている。また、寄附をいただくには、中池見を知ってもらって寄附いただくことが大切だと感じている。
- （顧問）中池見の催しをニュースとして紹介した他、コーナー番組「中池見だより島 Chan 田」を制作放映した。来年度も同様に、色んなかたちで中池見について情報発信していく予定だ。
- （会員）年度初めの 6 月には、各学校を訪問し中池見を活用いただけるよう直接、あいさつに回った。また、ラムサール条約関係市町村会議に出席したり、福井大学との包括協定を締結したりした。平成 29 年度は、ふるさと納税として 80 万円の寄附、「人道の港と豊かな自然を守るチャリティーコンサート」より 32 万円の寄附があった。只今、市では後期環境アクションプランの策定中であり、その中に、新たな考え方「森里川海」を盛り込み、中池見湿地の活用推進として計画を立てているところである。
- （会員代理：事務局）アンドロイド版のアプリがストアにあがっている。 아이폰版は、チェックをクリアできない状況となっている。

- (事務局) アンケートの実施を予定しており、内容について、皆様のご意見を頂戴したい。

[質疑・応答]

- (会員) ふるさと納税を募るにあたっては、中池見への賛同をいただけるような仕組みの工夫が必要ではないかと思う
  - (事務局) 引きつづきのPRをおこなっていく。
  - (会員) 資金の枯渇が目前であるが、中期的にどうすべきかが未だみいだせていない。現段階で何か考えられる手だてはあるのか。
  - (会員) 市民の理解が大切と考えており、アンケートにて意見を徴収する予定だ。
  - (会員) アンケートは、来園者についての情報だけでなく、市の費用として、どのようにすれば市民の合意が得られるのか、支援いただけるのか探ってみてはどうだろうか。

【議事5】 その他

- 会員異動
- 敦賀市在住の\*\*氏（日本野鳥の会福井県）の協議会への加入について、全員一致でこれを了承した。
- 事務局（敦賀市）より、今後の予定として、平成30年度第一回会議を平成30年5月頃に予定したいとの説明があった。

(以上)